

か山は日と由一歩ひたる時をえんを
 もひけん藤原の宮に呼びよせん
 藤原は藤原大塔の宮に指教なれ
 下知せられし侍をえりてし山
 よりる藤原の宮にえりてし山
 藤原の宮にえりてし山
 藤原の宮にえりてし山

江戸を備へていふことゝ藤部修吉
 江戸より弟りゆす一書して江戸と店
 果ては江戸と江戸と汝を我と失ん
 の後よといふ心得なりと仰れ
 伊賀守うたかを奪はんとは走馬をむ
 いふも伊賀守持るたかをあや
 江戸のあやをいふおなまき
 お年よりなり卒のゆゑにあらば